防水工事の流れ

プルーフロンバリューDX：PM工法

工事開始前

コケ・カビなど汚れがかなり付いた状況です。

この状態では塗料がくっ付かないので洗浄してからの施工となります。
状況に応じてカビ除去剤などの薬品を使う場合もあります。

2F建て以上の防水工事の場合は昇降足場（昇り降りする為の）や近隣住民へのご迷惑にならないように飛散対策で囲い足場を組み場合もあります。
※平家建でも安全対策の為場合に応じて足場が必要な場合があります。

洗　浄

業務用洗浄機にて洗い、塗装に適した状況を作ります。

洗浄中は洗濯物など濡れてはいけないものは自宅の中へ移動をお願いする場合がおります。お車にもカバーを掛ける場合もあります。
※集合住宅で何度お伝えしても洗濯物を干す方がおりますのでその場合は洗濯物をビニールで養生する場合もあります。

防水施工前の準備として不必要なものを撤去
写真にはないですが鉄のビス・アンカー・水道管・物干しなど必要の無いものは撤去してからの作業となります。

機械で削り取ります。

凹み箇所をモルタル補修。

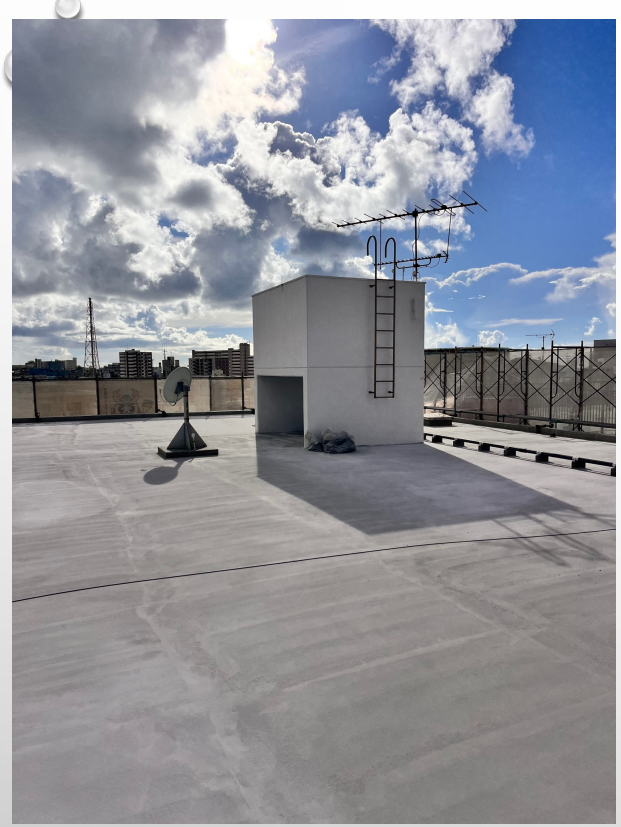
接着剤のプライマーを塗布。その後コーナー処理

タンクの隙間も埋めます。

防水工事を行う前に入済み（立ち上がりの角）にプライマー塗布、ウレタンコーキングを充填していきます。これをコーナー処理と言います。
コーナー処理をすることにより防水材が角から剥がれたり、切れること事を防ぐ事が出来ます。
経年劣化により角から剥がれたり、切れたりするので、それを防ぐ為に必要な工程となります。
建物側などの角（入済み）から雨漏れがある物件もあるのでその為にもコーナー処理は大事な工程だと思います。
※数年後にコーナー処理をやった場合とやならなった場合の差が出てきます。

下地調整：下地材（接着剤）

下地は色々な種類・方法がありますのでご自宅にあった方法、材料で行います。

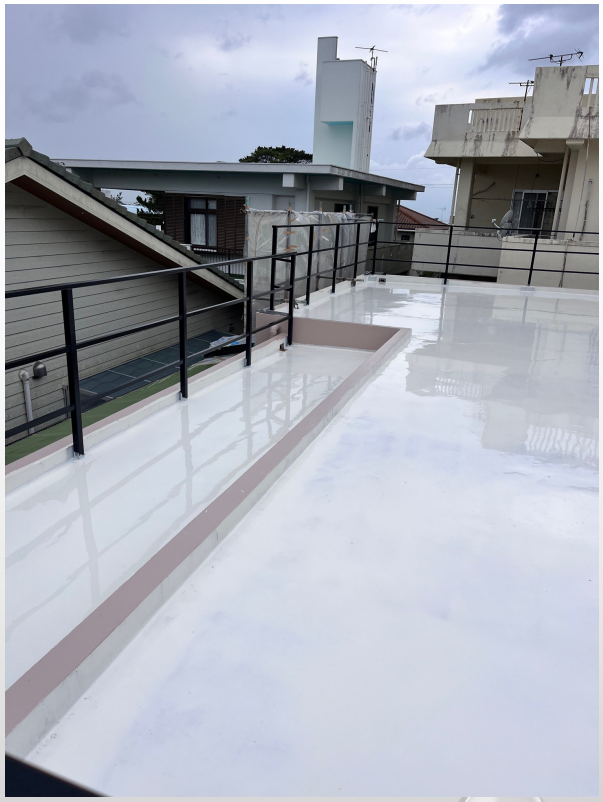


スラブ（地面）の状況によっては専用のモルタルでこのように全面コテシゴキする場合もあります。
凹凸が多い場合・旧塗膜がある場合など

プライマーS：たっぷりと地面に吸わせて膜を作る下地材です。
吸い込みが激しい場合は2回、3回と塗り重ねます。

レジアンダー：水性エポキシ系下地材。水性系なので旧塗膜が水性塗料場合でも施工可能。

ウレタン防水1層目



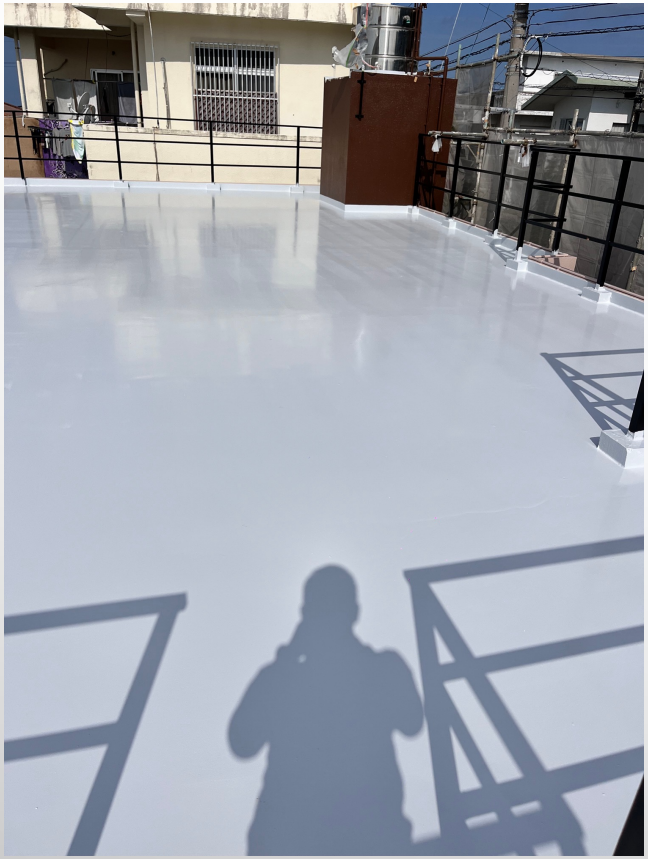
防水1層目を行うと養生期間が1日必要なので2層目は翌日に行います。
季節にもよりますが平均的に2時間～4時間置けば雨に打たれても問題ないです。

ウレタン防水2層目

防水材料は強溶剤系塗料となっておりますので匂いがあります。
防水材料塗布後は1日乾かせますのでその間はベランダなどの防水箇所では歩行が不可となります。ペットを飼われている方はペットが外に出ないようご協力お願い致します。

材料、工程方法にもよりますが厚みは2mmが平均的な厚みです。

トップコートGR遮熱



人が歩行する箇所はFB骨材といって滑り止めを塗布する事も可能です。

防水材料は火に弱いのでバーベキュー、花火、タバコは注意が必要です。

遮熱塗料で室内温度も変わるとの報告が多々あります。
電気料金の削減にもなりますので塗装を考える時は遮熱・断熱などの特殊な塗料も考えてみては如何でしょうか。遮熱系塗料だけでも何種類もありますので金額、性能などご自宅にあったプランを一緒に考えましょう。

トップコートはウレタンで5年に1度のメンテナンスが必要となります。沖縄の日差しではシリコン塗料をお勧めしております。

ドレン錆止め塗装

水の流れ道の蓋ドレンも錆止め塗装します。
できる限り取り外して行いますが、建物の状況では取り外しが不可能な場合も多々あります。
その場合は直接塗装を行います。
当社がよく使う塗料は**サビキラー**ブラックです。
錆転換剤となっておりますのでただの錆止めよりは耐久性は高いです。

番外編:アンテナ台が錆びている場合

アンテナの下のプレートが錆びており前回の防水がサビにより切れていたので今回は錆止め塗布後、枠を組んでモルタルでプレートも一緒に包んであげました。

それによりプレートも錆びができづらくなるのはもちろんのこと、防水が切れずらくもなります。

タンク台・補修・防水・錆止め塗装

タラップ補強

屋上に登る為のタラップ（ハシゴ）がよくこのように錆びて折れそうな場合もモルタルで補強する事でサビも出づらくなり、見た目も良くなり、安心感もUPしますのでお勧めです。

室外機がある場合。

室外機がある場合はこのような金物で浮かせての施工となります。
しっかりと室外機の下まで防水施工致します。

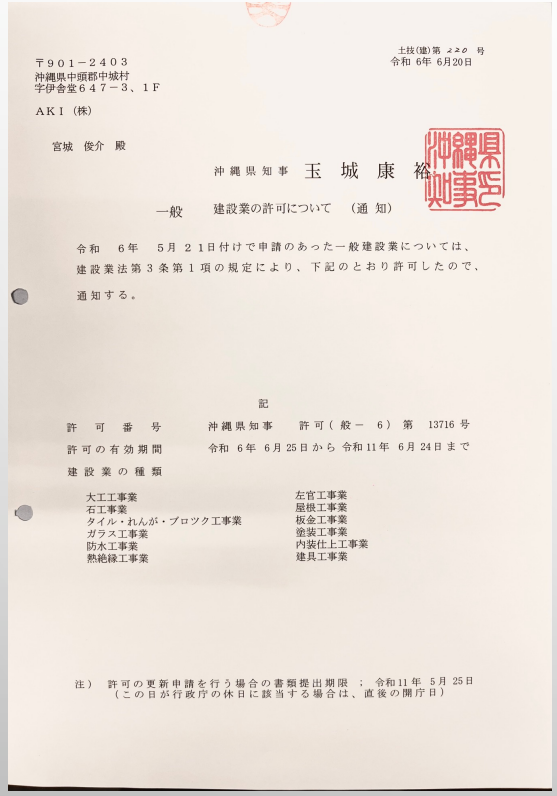
室外機を置いたままでブロック丸ごと防水施工するような事はありませんのでご安心下さい。

※以前の業者さんがブロックごと防水しており、引き剥がすのが困難な場合は相談させて頂く事があります。

安心の建設業許可業者

沖縄県知事許可（般-6）第13716号

その他にも1級塗装技能士・2級施工管理技士・宅地建物取引士など。技術・管理・建物。お任せ下さい。不動産業者のご紹介も行なっております。



土技(建)第 220 号
令和 6年 6月20日

〒901－2403
沖縄県中頭郡中城村
字伊舎堂647－3、1F
AKI（株）

宮城 俊介 殿

沖縄県知事 玉城康裕

一般　建設業の許可について　（通知）

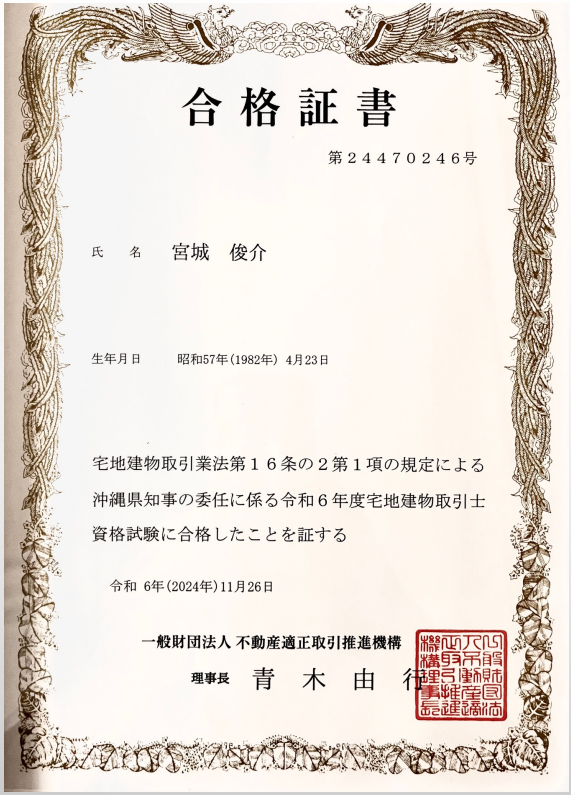
令和　6年　5月21日付けで申請のあった一般建設業については、建設業法第3条第1項の規定により、下記のとおり許可したので、通知する。

記

許可番号　沖縄県知事　許可（般－6）第 13716 号
許可の有効期間　令和 6年 6月 25日から 令和11年 6月 24日まで
建設業の種類

大工工事業
石工事業
タイル・れんが・ブロック工事業
ガラス工事業
防水工事業
熱絶縁工事業
左官工事業
屋根工事業
板金工事業
塗装工事業
内装仕上工事業
建具工事業

注）許可の更新申請を行う場合の書類提出期限；令和11年 5月 25日
（この日が行政庁の休日に該当する場合は、直後の開庁日）



合格証書

第24470246号

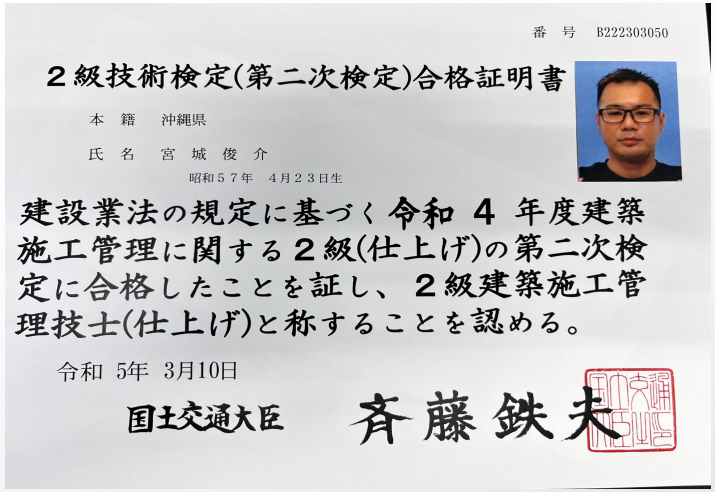
氏名　宮城　俊介

生年月日　昭和57年(1982年) 4月23日

宅地建物取引業法第16条の2第1項の規定による沖縄県知事の委任に係る令和6年度宅地建物取引士資格試験に合格したことを証する

令和 6年(2024年)11月26日

一般財団法人 不動産適正取引推進機構
理事長　青木由行



番号　B222303050

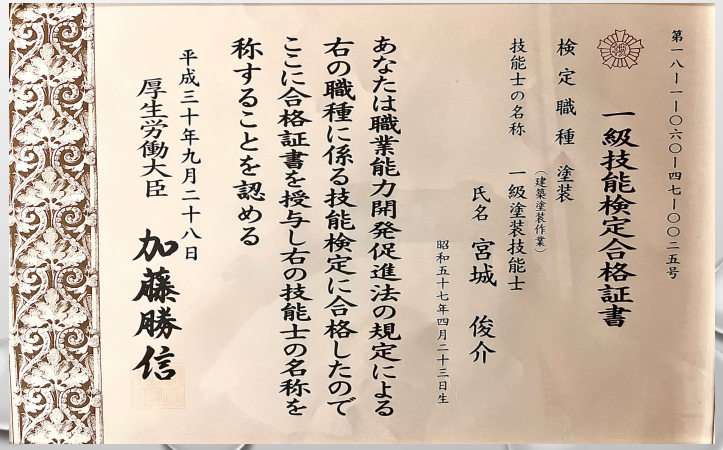
２級技術検定(第二次検定)合格証明書

本籍　沖縄県
氏名　宮城　俊介
昭和５７年　４月２３日生

建設業法の規定に基づく令和４年度建築施工管理に関する２級(仕上げ)の第二次検定に合格したことを証し、２級建築施工管理技士(仕上げ)と称することを認める。

令和 5年 3月10日

国土交通大臣　斉藤鉄夫



第一八一一〇六〇一四七一〇〇二五号

一級技能検定合格証書

検定職種　塗装（建築塗装作業）
技能士の名称　一級塗装技能士
氏名　宮城　俊介
昭和五十七年四月二十三日生

あなたは職業能力開発促進法の規定による右の職種に係る技能検定に合格したのでここに合格証書を授与し右の技能士の名称を称することを認める

平成三十年九月二十八日
厚生労働大臣　加藤勝信